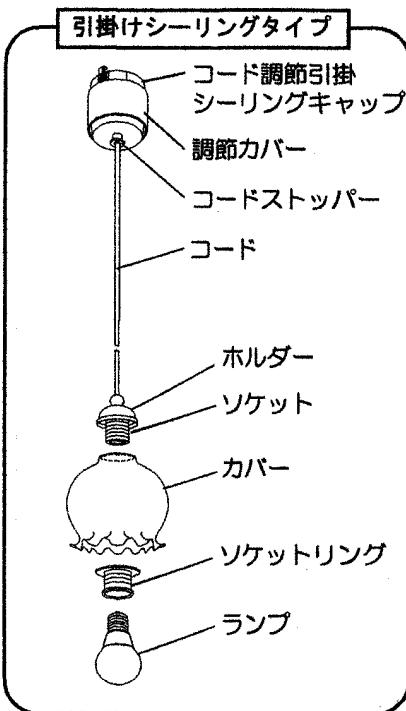
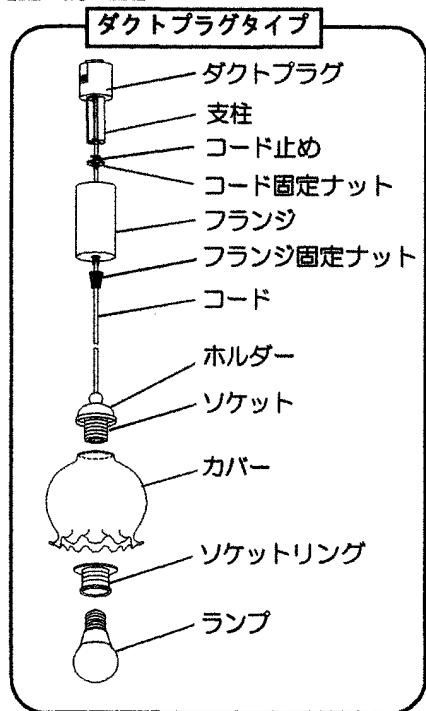




## 各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)  
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

### 器具構成図



### 付属品

引掛けシーリングタイプのみ付属	
△ 角形引掛け シーリングボディ	… 1個
△ 木ネジ (シーリングボディ用)	… 2本

E26 LED電球  
東芝製 LDA8L-G-K/60W  
… 1個

△ 取扱説明書（本書） … 1枚

保証と  
アフターサービス  
(別紙) … 1枚

## 取り付け方

△ 注意 ● 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

### △ 警告

器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。

★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

ライティングダクト、ダクトプラグには方向性があります。

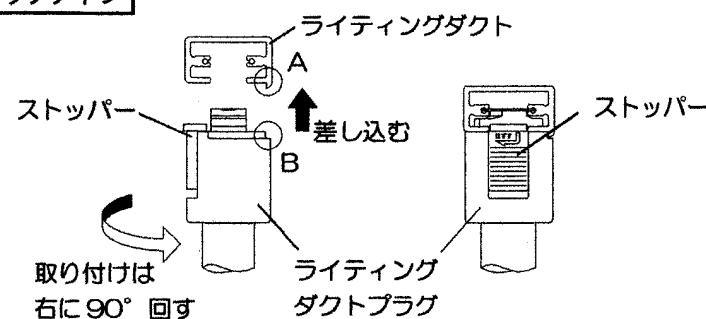
無理に取り付けないでください。

★器具の破損、落下の原因となります。

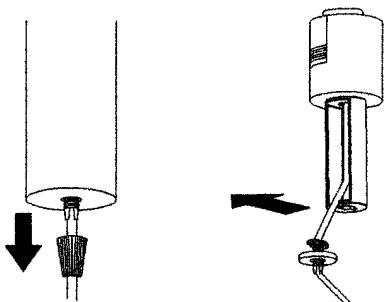
### 1. 器具を取り付けます。

●A・Bの凸凹に合わせてライティングダクト用プラグをライティングダクトへ差し込み、プラグを右へ90°回して取り付けます。この時、ストッパーがライティングダクトに確実にはまっていることを確認してください。

ダクトプラグをはずす際は、ストッパーを指で押し下げながら、左に90°回転させてください。



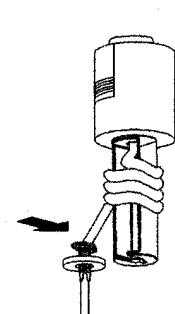
### 2. 器具高さを調節します。



①フランジ固定ナットを緩め、フランジ固定ナットと、フランジを静かに本体まで下ろします。

②コード固定ナットを緩め、コード止めとコードを切りかきからはずし、静かに下ろします。

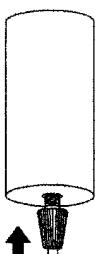
③好みの長さになるまで支柱にコードを巻きつけます。  
(調節可能範囲：700mm)



④コードとコード止めを支柱の切りかぎにはめ込み、コード止めに合わせてコード止めを締めこんで固定します。

⑤フランジの孔をコード止めに合わせ入れフランジ固定ナットを締め込みフランジを固定します。

\*微調整をする場合はフランジ固定ナットを緩め、コードを押し上げてください。

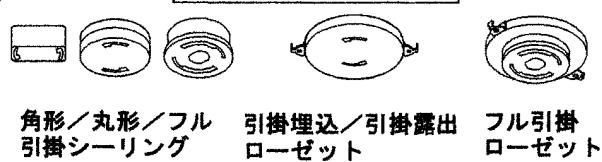


3. (裏面)へ

## 引掛けシーリングタイプ

## 取り付け場所の確認

すぐ取り付けられます



配線器具の取付工事が必要です

配線だけの場合

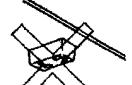
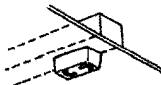
付属の引掛けシーリングを取り付けてください。

アウトレットボックスの場合

市販の引掛け埋込ローゼットを取り付けてください。

## △警告 ! 配線器具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。

★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下  
事故の原因となります。



## △注意

建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

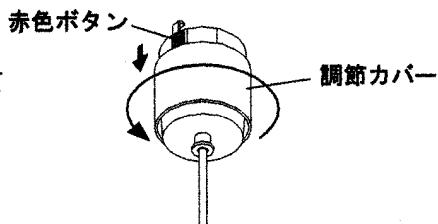
野縁

さお縁

薄い天井

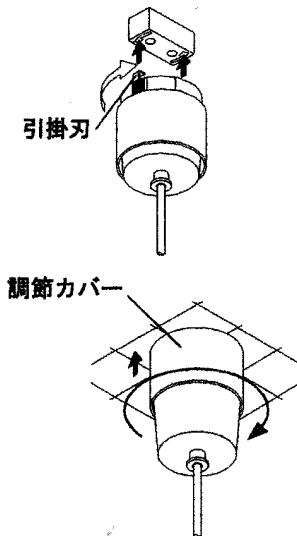
## 器具を取り付ける前に

- コード調節引掛けシーリングキャップの調節カバーを左に回して赤色のボタンが完全に見えるまで下げるください。



## 1. 器具を取り付けます。

- ①コード調節引掛けシーリングキャップの2本の引掛け刃を引掛けシーリングボディに挿入し、カチッと音がするまで右へ回してください。

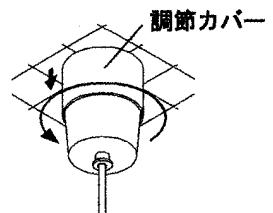


- ②コード調節引掛けシーリングキャップの調節カバーが天井面、または配線器具にあたるまで時計方向に回してください。

※ローゼットタイプの配線器具の場合は、配線器具を調節カバー内に収納できません。

## 引掛けシーリングキャップのはすし方

- ①器具を天井から取り外す場合は、コード調節引掛けシーリングキャップの調節カバーを左に回して、赤色のボタンが完全に見えるまで下げるください。

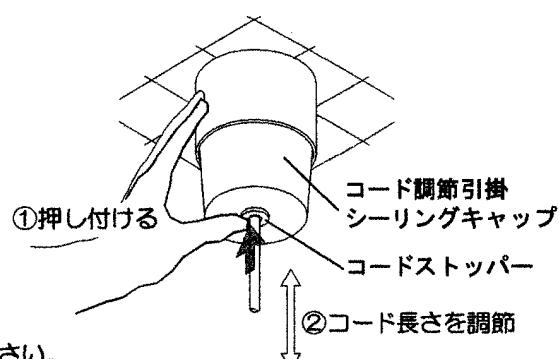


- ②赤色のボタンを押しながらコード収納引掛けシーリングキャップを左に回してはずしてください。

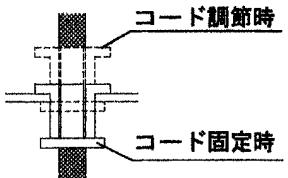


## 2. 器具高さを調節します。

- ①コードストッパーをコード調節引掛けシーリングキャップ側に押し付けながらコード長さを調節します。(調節可能範囲: 700mm)



## コードストッパーの位置



## △注意

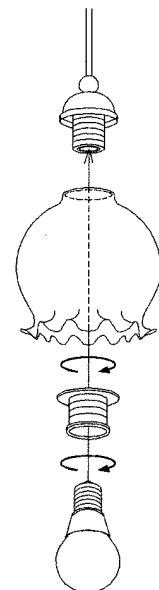
- 全長500mm以下では使用しないでください。
- ★過熱して、発煙や発火の原因となることがあります。

3. (裏面) へ

### 3. カバーをセットします。

- ①カバーをホルダーに合わせセットします。
- ②セットリングをホルダーのネジ部にねじ込み固定します。

△ 注意 ●カバーにヒビが入っていたり一部が欠けている場合には、  
ただちに新しいカバーと交換してください。  
★カバーの落下事故の原因となります。



### 4. 電球をセットします。

- カバーの開口部から手を差し入れて  
電球をソケットにねじ込みます。

△ 注意 ●電球は乱暴に取り扱わないでください。  
★電球割れなどの事故の原因となります。

## スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

### お手入れについて

### △ 注意

- ① 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を： 照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。  
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

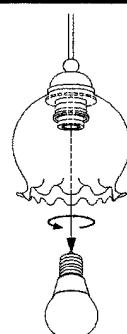
### △ 注意

- 電球の交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。  
★感電事故の原因となります。
- スイッチを切った直後の電球は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。★火傷の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。★感電事故の原因となります。
- 電球は乱暴に扱わないでください。★電球が割れてけがをする恐れがあります。
- 適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。  
★不適合な電球を使用すると、異常過熱による火災の原因になります。
- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。  
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。
- ダクトプラグ周りのゴミやホコリは、乾いた柔らかい布でよく拭いて取り除いてください。  
★火災や感電事故の原因となることがあります。

### ◆電球の交換

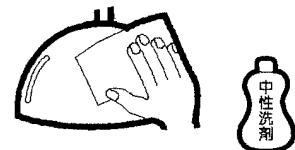
1. スイッチを切ります。
2. カバーの下から手を差し入れて電球を交換します。

△ 注意 ●カバーは乱暴に取り扱わないでください。  
★カバー割れによる「けが」の原因となることがあります。  
●カバーにヒビが入っていたり一部が欠けている場合  
には、ただちに新しいカバーと交換してください。  
★カバーの落下事故の原因となります。



### ◆お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



### ■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。